

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	駒ヶ根市郷土館(旧市庁舎)築100年記念事業
事業主体 (連絡先)	KOMAGANE アートプランの会 駒ヶ根市中央4-2 (事務局:090-3144-9263)
事業区分	(1)地域協働の推進 (3)教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,702,119円(うち支援金:1,358,000円)

事業内容

1. 記念DVD(動画)を作成し以下で放映した。

令和4年10月15日(土) 場所:駒ヶ根市郷土館

歴史フットパス・ジャンボリーの郷土館見学にて(70人視聴)

令和4年10月15日(土) 場所:赤穂公民館ロビー

特別講演会の入場者に向けて(120人視聴)

令和4年10月15日(土)~今後も継続 場所:YouTubeにて

オンラインで視聴される方に向けて(500人視聴目標)

令和4年10月16日(日)、22日(土)、23日(日) 場所:駒ヶ根市郷土館

郷土館 de アートライブの入場者・出演者に向けて(135人視聴)

令和4年11月16日(水)~2月28日(火) 場所:駒ヶ根市役所ロビー

市役所訪問者(延べ約2,000人視聴)

令和4年11月28日(月)~2月28日(火) 場所:駒ヶ根駅

駒ヶ根駅利用者(延べ約3,000人視聴)



【YouTubeで記念動画を配信】

2. 「こまがね歴史フットパス・ジャンボリー」の開催

地域の風景や文化・史跡を楽しみながら歩くイベントであるフットパスのコースの中心ポイントとして駒ヶ根市郷土館に参加者に立ち寄ってもらい、芸術鑑賞と共に郷土館の歴史や魅力を再発見してもらう試みを実施した。

日時:令和4年10月15日(土) 場所:駒ヶ根高原(駒ヶ根市郷土館含む)

講師:古街道研究者 宮田太郎先生 参加者:70人(うち小中学生4人を含む)

3. 「郷土館 de アートライブ」の開催

駒ヶ根市郷土館で地元の芸術団体によるアートライブイベントを開催。入場者には築100年の洋館での芸術鑑賞や体験をして頂くと共に、洋館カフェ的に鑑賞しながら地元のお菓子と珈琲を楽しんで頂くイベントとした。

日時:令和4年10月16日(日)、22日(土)、23日(日) 場所:駒ヶ根市郷土館

場所:駒ヶ根市郷土館 参加者:135人(うち小中学生10人を含む)

4. 「特別講演会 大正ロマン建築から令和の幸福社会へ」の開催

講師に、建築分野で名高い月尾嘉男先生をお迎えし、長野県建築士会上伊那支部の皆さんと共に駒ヶ根市郷土館の話から源氏の建築物に繋がる話をご講義頂き、建築分野におけるゼロカーボンの取り組みについてもお話しいただいた。

日時:令和4年10月15日(土) 場所:赤穂公民館ホール

講師:東京大学名誉教授 月尾嘉男先生 参加者:120人

5. 「郷土館100年記念こまがねgift2022秋」特別販売を実施

地元の菓子店が選ぶ築100年の洋館に合う菓子と地元のJOCAが販売する協力隊珈琲の詰め合わせギフトを販売するとともに、駒ヶ根高原の郷土館が築100年を迎える貴重な文化財であること、一般公開されているのでぜひ来館をとの周知をした。※販売日:10/15(土)、10/16(日)、10/22(土)、10/23(日)に上記イベント及び店舗にて販売

事業効果

- ① 支援金を活用して、駒ヶ根市郷土館という文化財を築100年を機に多くの人に人がイベントを通して訪れ、広い世代の「歴史と文化」の学びにつながった。
- ② KOMAGANE アートプランの会、まほろばの里研究会、建築士会上伊那支部、こまがね gift 実行委員会などの団体が協働で事業に取り組み活動を充実させられた。講演会の参加者の満足度も高く、ゼロカーボンに関する話題も好評で意識を高めることが出来た。
- ③
 - ・駒ヶ根市郷土館の入場者の増加：
R4年度 対R3年度 10%増
 - ・記念動画のインターネットでの視聴回数が年度内に50回視聴。
 - ・郷土の歴史の浸透：フットパス参加者アンケート「郷土の歴史を学ぶ機会となった」との問いに、回答「はい」が90%以上
 - ・コロナ禍の中で癒しとなる体験：芸術鑑賞会（お菓子と珈琲付き）参加者アンケート「癒しとなった」との問いに、回答「はい」が90%以上。

【目標・ねらい】

- ① 広い世代の教育文化の振興
- ② 地域の分野の異なる団体が協働しまちづくりをする。
- ③ 郷土館の認知と来館者の増加

※自己評価【 A 】

【理由】 記念動画の評価が高く、事業終了後も駅や役所で継続して放映されることになったことや、各イベントのアンケート結果の満足度が予想より高かったこと、また今後も各団体が協働していく機運が予想以上に高まったため。

今後の取り組み

今後も今回協働の活動をした団体間の連携を深め、まちづくりを続けていきたい。また、駒ヶ根市郷土館の多角的利用を模索検討し、さらに多くの人に歴史的建築物の魅力を知ってもらう活動を展開していきたい。作成した記念動画も引き続き学校教育現場などにも働きかけモニター上映の機会をつくり、YouTubeでも視聴回数の増加を目指して啓発をはかっていく。

また、活動を継続させるために、市民との連携を図り、文化芸術の意識啓発と人材育成に取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある